

◆第6回十和田火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会の実施について

◆第6回十和田火山噴火緊急減災対策砂防計画検討会
 開催日時：令和5年9月14日（木）13：30～15：30
 会場：男女共同参画プラザ カダール（青森県青森市）
 形式：対面形式とWEB会議形式の併用
 参加者：対面形式 4機関9名
 WEB会議形式 16機関26名

討議事項①：素案への指摘事項と対応について

● 昨年度取りまとめた「十和田火山噴火緊急減災対策砂防計画（素案）」について、第5回検討会でのご指摘・ご意見に対する修正結果を報告した。

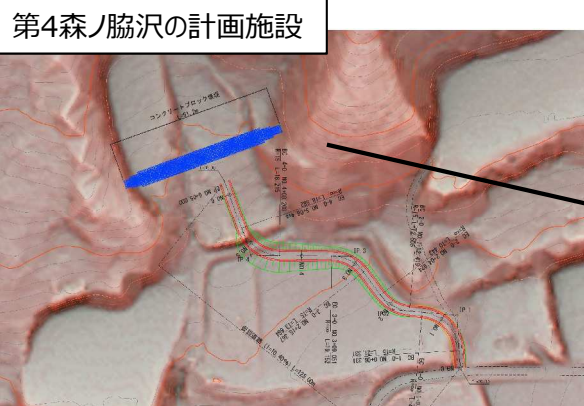
【主な修正事項】
 ・降灰後土石流の緊急ハード対策の着手優先度の選定フローを掲載する。
 ・火山噴火後の状況把握に衛星データを活用する。
 ・十和田火山防災協議会と連携して、十和田火山に関する情報発信に努める。

討議事項②：公表用の計画書について

● 計画書の公表用のフォーマットについて協議した。
 → 時点修正の掛けやすさ等を考慮し、公表用の計画書は要点に絞った内容とする。

討議事項③：緊急減災対策カルテについて

● 計画策定後には、緊急減災対策実行計画の実行性向上のための手段として、具体的な行動内容を整理した「緊急減災対策カルテ」を作成する。
 ● モデル渓流の1つである「第4森ノ脇沢」で緊急減災対策カルテを先行して作成した。



◆ 今後推進されるBIM/CIMの活用を見据え、カルテで検討したハード対策施設の3次元モデルを作成した。

◎ 検討会の実施状況



スクリーン
 本会場の様子

【事務局：青森県・秋田県・岩手県】



WEB会議参加者

討議事項④：平常時からの準備事項について

緊急減災対策を実施可能なものとするために、対策を実施する際に必要となる手続きや調整事項など、平常時から準備が必要な事項について検討した。

◆ 緊急対策に必要な諸手続きの検討

- 対策時に必要となる手続きや法令、その調整先や調整内容を予め整理する。
- 既存の災害時応援協定で「火山噴火後の土砂災害」も対応可能か検討する。

◆ 情報通信網の整備

- 光ファイバや5G通信網等を活用した情報通信網を整備することが望ましい。
- 情報提供のタイミング、内容、配信先も併せて整理する。

◆ 関係機関との協議調整による実行性の向上

ワーキンググループでの実施メニュー（案）

- 緊急対策の役割分担の明確化や、防災・道路部局との調整事項など、平常時から検討しておくことで緊急対策の実行性が高まる事項について、ワーキンググループを設置して順次検討することが望ましい。

分類	実施メニュー（案）	協議・調整先	全体	地域	
緊急ハード対策	対策着手優先度の検討	—	●	—	
	緊急減災対策実行計画書（ハード対策）の作成	—	●	●	
	アクセス路の検討（優先度、使用・占有許可等）	道庁部局	●	—	
	無人化施工検討	—	●	—	
緊急調査	調査地の調査	調査方法の検討	—	—	
	調査地の調査	調査方法の検討	—	—	
	人員の調整	災害協定締結	—	●	
緊急ソフト対策	緊急調査の役割分担の具体化検討	—	●	—	
	監視・観測機器の緊急的な配備	緊急ソフト対策設計・施工計画	—	●	
	対策工事の安全管理	ソフト対策施工	—	●	
	リアルタイムバグ・マップ（RTM）	基幹情報の検討	—	●	
	リアルタイムバグ・マップ（RTM）	火山監視員研修の具体化検討	気象庁	●	—
	リアルタイムバグ・マップ（RTM）	リアルタイムバグ・マップの作成準備	国土交通省	●	—
共通	情報通信システムの整備	構材の選定方法の検討	国土交通省	●	
	避難対策支援のための情報提供	5G、ローカル5Gの活用等の検討	—	●	
	—	避難対策に向けた具体化検討	市町村	●	
	—	平常時準備事項の実行優先位の検討	—	●	
共通	—	緊急対策に必要な協議手続きの検討	—	●	
	—	緊急対策に必要な協議手続きに関する事前調整	調整先機関	●	
	—	勉強会、訓練・演習の実施	—	●	
	—	防災啓発	住民	●	
	—	行楽計画作成	火山防災協議会	●	
—	タイムライン	—	●		
—	火山データベース、緊急減災基図の整備	—	●		

今後の予定

【第7回検討会】
 2023年12月ごろ予定
 計画の最終案を提示し、年内を目途に計画作成予定。